

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 池田高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月7日(木) 10:00~12:00
- 3 開催場所 池田高等学校視聴覚室  
開催にあたり、委員による授業参観及び池田町キャリア教育プログラム参加生徒2名による活動報告を実施した。
- 4 参加者

会長	小林 月子	サンビレッジ国際医療福祉専門学校名誉校長
副会長	西川 昭	育友会長
委員	高橋 利行	池田町教育長
	宇野 秀宣	神戸町教育長(欠席)
	河村 茂雄	池田町立池田中学校長
	岡田 勝彦	神戸町立神戸中学校長(欠席)
	國枝 正義	池田町上田区長
	高橋あゆみ	神戸町立北小学校読み聞かせボランティア 神戸町立図書館運営協議会委員
	野原 昭弥	地域商工会代表
	安田 正博	県青少年健全育成指導員(欠席)
学校側	鈴木 彰	校長
	栞原 利樹	教頭
	田村由美佳	事務長
	吉田 一臣	教務主任
	古山 克幸	進路指導主事
	三輪 智子	生徒指導主事

### 5 会議の概要(協議事項)

○「学校評価アンケート」結果に基づくこれまでの取組と改善について

意見1：授業参観をして、先生も生徒もすごく自然体で臨んでいる。キャリア教育の活動報告をしてくれた生徒も大変価値のある学びをしたことが、発表時の表情が物語っていた。生徒はみんな、何かを知りたいとか、何かを確かめたいという気持ちがどこかにあるわけで、それを発掘するためのチャンスを学校でどう作れるかというのがとても大切なことである。こういうチャンスを総合的な探究の時間で作り出していくのはとてもよい。どの生徒も自分の適性や能力に気づいて自分で選択できるところが大事なので、各自に照準を合わせた授業、指導をしてもらえるとよい。

意見2：学校運営協議会に参加するようになって、高校のイメージが変わった。先生方の非常

にエネルギーが湧き出すような雰囲気は、中学校と同様だと実感している。地域との密着度も非常に高い。

意見3：探究的な学習に力を入れていることは聞いて感じてはいたが、それが最終的な出口として大学等の入試における総合型選抜にも繋がるという説明を受け、筋が一本繋がったと理解が深まった。

意見4：探究活動について、次回第3回協議会時に発表会の参観が予定されており、大変楽しみにしている。本日発表した2人の生徒のように、自分たちがその探究をするために前後で色々学んだことがとてもよかったと言っており、やはりその探究をするためにどういうことを学んで、探究をした後にどういう成果が得られたかということ積み重ねていって、いろいろな授業やこれからの進路に結びつけていけたらという思いが先生方からすごく伝わってきた。そういう生徒が1人でも多く池田高校から生まれてくるとよい。

意見5：探究的な学習のような学びが増えてくると、従来型の家庭での学習時間が減少するのではないかと推察する。兼ね合いを考える必要はあると思う。

意見6：コースごとの生徒の大学見学会はオープンキャンパスとは違うのか。

⇒本校は単位制で、生徒は進路希望に合わせて科目選択をしている。その選択群を便宜上コースと呼んでいるが、例えば将来的に看護医療分野を希望する2年次の生徒たちが、連携している朝日大学に平日に参加させてもらって、大学の様子を見学した。オープンキャンパスだと、土・日が主となり学生が見られない。

意見7：アンケート結果は数値化されているので非常にわかりやすい。本校の結果では、学校に対して満足しているということが数字を見ると非常に多いので、皆さんそうした学校生活を送っているのだとわかった。

意見8：本校に限った事ではないが、保護者や生徒のアンケートについて、いじめや体罰、ハラスメントがある・ないという項目はなくした方がいい。以前あったのは理解するが、現在は様々な調査を実施している。他で細かく調査しているのに、漠然と尋ねて誰が答えたか何も分からないからだ。

意見9：いじめの話題は、保護者間や生徒間で神経質になりがちでなかなか難しい側面があるので、学校側からアンケート等を頻繁に行うことはよい。

意見10：育友会の行事や活動への保護者の参加がいつそう増えるとよい。保護者の考え方も変わってきている印象がある。

意見11：家の前を池田高校の生徒が通っている。以前に比べ挨拶をしてくれることがあまりない。イヤホンをしていたりしていることもあるので事故が心配である。

⇒注意喚起をしていきたい。

## 6 会議のまとめ

第2回目となる今回は、7月に実施した生徒及び保護者等向けの学校評価アンケートの結果を踏まえて、主に学習指導・進路指導・生徒指導面から、教育活動の現状や今後の取組について説明し、各委員からご意見をいただいた。中でも「総合的な探究の時間」を軸とした探究的な学びについては、その成果を活用して国公立大学の総合型選抜において合格者を輩出したこともあり、学びと進路の繋がりについてご理解と評価をいただき、本校の今後の在り方に大いに励みとなった。

また第1回学校運営協議会で本校の「スクール・ミッション」策定に関し様々な観点やキーワードを提供していただき、今回それを基に案を提出した。「網羅的でよい」「少々長いので提示の際は工夫が必要」などの協議を経て、全ての出席委員からご承認いただいた。この点においても、本校のアイデンティティや方向性について認識が一致しておりまた肯定的な理解を得ているものと考えている。